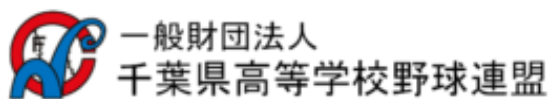


鹿山会は、皆さまからの会費、寄付を原資として活動しています。平成 30 年度会費納入、佐倉高校県立移管 120 周年記念事業への寄付金納入をお願いします。平成 30 年 10 月末に郵送いたしました会費納入及び寄付振込用紙により、ご協力をお願いします。

(問) 鹿山会本部事務局 (佐倉高校内) tel.043-484-1021 fax 043-486-0903

甲子園センバツ 21 世紀枠、千葉県候補に佐倉校を決定



千葉県高校野球連盟により、来春の第 91 回選抜高等学校野球大会の 21 世紀枠候補に佐倉校が決定されました。



母校野球部は、今年の秋季県大会で強豪校・千葉経大付などを破り、ベスト 16 の成績を収めました。県下で有数の進学校でありながら、学業と部活動を両立させ、「限られた少ない練習時間の中で効率の良い練習を心掛け、県大会で上位の成績を収めた」として、推薦校にふさわしいと評価されました。

明治 25 (1892 年) に創部され県下最古、国内有数の伝統を誇る母校野球部。今回の推薦をいただいたのは、何よりも生徒と学校のご努力、そして野球部 OB 会を始めとして多くの関係者の応援の賜物と思います。鹿山会々員の皆様におかれましても、今後とも母校野球部を応援くださいますようお願いいたします。

21 世紀枠候補校表彰式が行われました 11 月 26 日 (月)、母校応接室において 21 世紀枠候補校表彰式が行われ、第 91 回選抜高校野球大会における千葉県の 21 世紀枠候補校に選ばれたことについて、千葉県高等学校野球連盟から表彰されました。(佐倉高 hp 参照)

◎21 世紀枠校は今後、12 月に関東・東京地区で 1 校に絞られ、その後来年 1 月に全国 9 地区から 3 校が選ばれる予定とのことです。

『佐倉藩校のあゆみ』～成徳書院から佐倉高校まで～



林副会長

鹿山会林副会長、佐倉市民カレッジ文化祭で講演

日時：平成 30 年 11 月 14 日 (水) 午後 1 時～

場所：佐倉市中央公民館

佐倉市では、共に学び行動する仲間づくりと生涯を通じた学習活動を支援するために、4 年制の「佐倉市民カレッジ」が開設されています。カレッジでは、毎年 11 月に文化祭が開催されますが、市民カレッジ生でもある林副会長による、母校の歩みについての講演が行われました。

内容は、①藩校の成立と発展 ②佐倉藩校のあゆみ ③佐倉高校「地域交流施設」所蔵のハルマ和解等鹿山文庫関係資料 ④明治の私立学校時代 ⑤県立に移管 ⑥鍋山 (現所在地) に移転等について。

当日、50 名を超える受講者は、身近な高校の歴史を改めて知ることとなり、郷土史の学習にも一層の興味を抱いたようです。

講演終了後、一部改訂された「佐倉高校の歴史と文化財」が配付されましたが、鹿山会ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。



佐倉市立中央公民館



久野節(千葉県立佐倉中学校本館)
(現、千葉県立佐倉高等学校記念館)1910年



伊東忠太(震災記念堂)(現、東京慰霊堂)
写真 1930年 東京都復興記念館所蔵資料

◎明治 23 年竣工の本校舎 (現記念館:国登録有形文化財) を設計した久野節や、明治から昭和期の建築家・建築史家であり、鹿山小学校、旧制鹿山中学校に学んだ伊東忠太 (築地本願寺等を設計) などを紹介する「知られざるドイツ建築の継承者」が佐倉市立美術館で 12 月 24 日まで開催されています。

~~~~~

□佐倉高校記念館内部特別公開 11月24日(土)13時～16時

～卒業生など80余名が母校のおもひでの中に～

母校記念館は、旧佐倉藩主堀田正倫の寄付により明治43年(1910)に建築され、本館として使用されていました。塔やドーム屋根を持つ明治期の木造洋風建築物として貴重です。現在は学校の管理棟として使用されている、国登録有形文化財です。



設計は久野 節(くのみさお、1882年<明治15年>2月21日～1962年<昭和37年>8月7日)。



佐倉市立美術館では、『知られざるドイツ建築の継承者～矢部又吉と佐倉の近代建築』として佐倉に現存する近代建築物や、佐倉にゆかりのある建築家を紹介する企画展が開催(12/24まで)されていますが、佐倉市内の「たてももの見学会(定員20名)」の一つとして、記念館特別公開に合わせて見学会コースに組み込まれていました。

\*\*\*\*\*

□鹿山文庫講演会(地域交流施設) 11月24日(土)14時～



佐倉堀田藩とその山形分領

講師:樋口 武昭氏

プロフィール:昭和9年生まれ、東京都出身。昭和28年千葉県立佐倉高等学校卒業。昭和36年千葉短期大学卒業。平成5年千葉県庁退職。平成9年千葉県信用保証協会退職。



著作に『佐倉堀田藩とその山形分領』東京創作出版(2012/01発売)

\*データはこの書籍に掲載されていたもの



延亮3年(1746)、堀田正亮が山形から佐倉へ転封されたが、佐倉藩11万石のうち4万石は山形の村上郡に残され、その所領を管理するための柏倉陣屋内には成徳書院の分校も設けられたことなど、講師の著作に基づき、①佐倉城のできた時代 ②堀田氏の草創期 ③佐倉、古河から山形へ ④正亮の佐倉転封 ⑤堀田家家臣時代前後の新井白石 ⑥吉宗の改革時代と佐倉藩政 ⑦佐倉藩校 について講演いただきました。

50余名の聴講者は、佐倉藩の生い立ち、歴史を改めて学ぶことにより、母校の歴史の重さも深く感じとっていたようです。

◎県立佐倉高等学校地域交流施設:平成11年(1999)に開館。藩校として創立した佐倉高校が、明治32年(1899)に県立に移管されて100周年の記念事業の一環として校内に建築されました。1階には展示室と研修室があり、2階は収蔵庫となっています。

展示室には鹿山文庫関係資料(県指定文化財)など多数の古書籍、順天堂関係書籍、旧制佐倉中学校時代の教材、教具などが展示されているほか、佐倉高校出身の長島茂雄読売巨人軍監督の写真などの展示コーナーがあります。

【地域交流施設のご案内】

開館日 土・日・祝日(臨時休館することがあります)

お盆と年末年始は休館

開館時間 午前10時～12時

午後1時～4時30分(入館は4時まで)

入館料 無料



\*\*\*\*\*